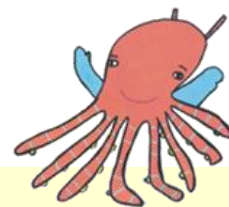


ラシク 045 みなとみらいで 表現と福祉の当事場を考える



～アート×福祉×働く人～



アサダワタル ゲストスピーカー



画：花堂達之助

文化活動家／アーティスト、文筆家、近畿大学文芸学部准教授。

古書レコード店〈とか〉オーナー。1979 年大阪生まれ。

滋賀県立大学大学院環境科学研究科博士後期課程満期退学、博士（学術）。

これまでにない不思議なやり方で他者と関わることを「アート」と捉え、全国の福祉施設や復興団地でプロジェクトやワークショップを実施。

その経験を著作や音楽作品として発表している。

2019 年より品川区立障害児者総合支援施設ぐるっぽにて、公立福祉施設としては稀有なアートディレクター職（社会福祉法人愛成会契約）として 3 年間勤務した後、2022 年に近畿大学教員に。

東京芸術劇場社会共生事業企画委員。ホームヘルパー 2 級取得者。

著作に『当事場をつくる ケアと表現が交わる場所』（晶文社）、『住み開き増補版 もう一つのコミュニティづくり』（筑摩書房）、『想起の音楽 表現・記憶・コミュニティ』（水曜社）、『アール・ブリュット アート 日本』（平凡社、編著）など多数。

CD 作品『福島ソングスケイプ』（アサダワタルと下神白団地のみなさん）でグッドデザイン賞 2022 受賞。



金魚鉢 (フィッシュボール)

少人数の話し手を、全員で囲んで聴く対話の手法です。

まるで部屋の金魚鉢をみんなで眺めるような、温かくも深い議論の場が生まれます。

少人数の「座談会、内側の金魚鉢」をみんなで見守り聴いた後、外側の人たちが近くの人と気軽に語り合います。

